

# 日本 Renaissance ルネッサンス

## 櫻井よしこ



連載コラム 第957回

### 背景に左翼勢力、横行する実子誘拐

これからお伝えするのは不条理な離婚のあり様と気の毒な父親の物語である。この悲劇を扱ったのが、ノンフィクション『実子誘拐ビジネスの闇』（池田良子 飛鳥新社）である。読めば、左翼陣営が如何に巧妙に日本社会に浸透し、家族を崩壊に導きつつあるかが見てとれる。

卒田譲司氏（仮名）は2006年に結婚し翌年長女が誕生した。しかし夫婦は不仲となり、10年5月、卒田氏が仕事で不在のとき、妻は長女を連れて家を出た。

事情もわからない中で突然のことだった。卒田氏は娘に会わせてほしいと懇願し、同年7月、2歳半の娘に会えた。娘は「パパ、手を握って」と言っただけで必死に卒田氏の手をつかんだが、やがて迎えの車に押し込まれた。泣き叫ぶ娘に卒

田氏は「必ず迎えに行くからね」も少し待っててね」と約束した。

その後、同年9月末にもう一度会えたが、娘との面会はそれが最後となった。11年近くが過ぎ、娘は中学生になっていくはずだ。

親権を巡る裁判で元妻は、卒田氏はDV夫で子供を連れて逃げたのはやむを得なかったと主張し、卒田氏は全く身に覚えがないと反論した。

千葉家裁松戸支部は、①卒田氏のDVを認定しなかった、②妻が娘を囲い込んで育てることを認めなかった、③両親による娘の共同養育を認めた。

これは離婚後も両親双方による養育を認める点において、日本で初めての画期的判決だった。しかし東京高裁に移ったとき、大ドンデン返しが起きた。ごく普通の夫婦の離婚話なのに、元妻擁護に31人も左翼系

弁護士が結成されたのだ。共同養育を認めた松戸判決に彼らが如何に動揺したかを物語るものだ。結論を言えば、東京高裁も卒田氏のDVは認めなかったが、親権を元妻に与えてしまった。卒田氏が娘に会えない状態は今も続いている。

愛し合って結婚して、子供まで授かった夫婦が離婚に至るとき、片親が子供を連れて家を出るとい話はよく聞く。この場合、子供と共に家を出て行くのは、勿論父親の場合もあるが、圧倒的に母親が多い。

子供の海外への連れ去りは、ハーグ条約で禁止されており、連れ去り自体、欧米諸国では刑事罰に問われる。両親は離婚後も協力して子供を見守り育てることが求められている。

### 「フェミカン」

対照的に日本では母親が子供を連れて家を出るのは罪とはならず、父

親が子供に会いたくて、または子供の養育に関わりたくて、子供を連れ戻そうとすると、犯罪になる。日本では先に連れ去った方が勝ちであり、子供の連れ去りが罪に問われない国は世界で日本くらいなものだ。

なぜこうなるのか。背景に松戸判決に驚いて大弁護士を結成した左翼系弁護士らの暗躍がある。はすみとしこ氏編著の『実子誘拐』（ワニ・プラス）には、このあたりの事情が詳述されている。結婚問題で悩む妻は女性相談所やカウンセラーを訪れる。彼女たちの悩みを聞き親切に相談に乗るのは「フェミカン」（フェミニスト・カウンセラー）と呼ばれる人々が多いそうだ。相談窓口、フェミカン、そこから紹介される弁護士などは圧倒的に左翼系が多く、妻に、あなたが受けているのは実はDVなのですよなどと教唆するといふ。

「そこに引っかけた場合は、100%離婚を勧められる」と、はすみ氏は書いているが、離婚の具体的な行動の第一歩が子供を連れて家を出ることなのだ。

私は6月25日、この「実子誘拐ビジネス」問題をネット配信の「言論テレビ」で取り上げ、「正論」編集長・田北真樹子氏と、子供連れ去り事

件を手掛ける弁護士の上野晃氏と共に語り合った。その結果、確信したのは、日本においては家族のあり方まで「赤い勢力」の深謀遠慮によって蝕まれつつある、知らず知らずの内に日本社会の深部まで左翼思想が浸透しているということだった。

左翼陣営が、世界の潮流とは正反對に子供の連れ去りへと誘導する理由は大別して二つだと、上野氏は語る。第一はカネである。離婚を成立させればそこには慰謝料や教育費、養育費などさまざまな名目の金銭が関わってくる。条件は個々のケースで異なるだろうが、多種多様な名目の金銭の、10%から30%が手数料として弁護士に入る。

現在日本では、結婚する人の3人に1人が離婚する。上野氏はその内、子供連れ去りに関わる案件は年間15万件から16万件と推測する。この人

々が左翼系弁護士らにとつての大事な客となり収入源ともなる。

弁護士らは妻と子供を守るためと称して活発に動く。まず全ての手續きを引き受け、妻が夫と直接会わなくてよい状況を作る。生活費や養育費も弁護士がきちんと処理する。「DV夫」と直接会う必要はないようにして妻側を全面的に守るという姿勢だ。見返りに全ての種類の支払いの一定割合を懐に入れるのだ。

## 「第2のクレサラ特需」

こうした仕組みの大前提は夫婦が離婚すること、離婚後の夫婦は互いに会うことなく、あくまでも弁護士が間に入ることである。それによって弁護士は確実に手数料をとれる。松戸判決のように、夫婦が共同養育をする場合、弁護士の介在は不必要となり弁護士の収入源も断たれる。

31人もの大弁護士団結の背景に、収入源を奪われてなるものかという動機があったのではないだろうか。

弁護士の世界ではこの実子連れ去り離婚からもたらされる利潤は「第2のクレサラ特需」と呼ばれているそう。クレジット会社とサラ金業者への借返済問題で、過払い利息返還請求が起きた。返還額は大手4社で1・4兆円にも上り、弁護士らに特需をもたらした。それと似たような「ビジネス」になっているのが、「DV夫とされてしまった夫」から子供と一緒に逃げる「子供連れ去り」事件の数々だといわれている。

もうひとつの理由は左翼弁護士らの価値観の実現だと、上野氏は語る。「家族に対する彼らの考え方は、一言で言えば家族の否定です。彼らは

家族を壊したいと考えている人たちだと、私は認識しています」

上野氏が断定調で語るのには、氏が卒田さんの弁護を引き受け、千葉家裁松戸支部で約5年にわたる長い裁判を闘った体験ゆえであろう。

氏は言論テレビでざっと以下のよう説明した。卒田氏の元妻側についている左翼勢力の考え方を凝縮すると、共同体としての家族は子供にとって必ずしもよいものではない、子供は個人として尊重されるべきであり、家族から解放されるべきだ——となるという。

日本だけでなく、どこの国でもおよそ通用しない考え方だろう。マルクス主義社会ではあるまいし、家族は日本社会の基盤だ。左翼的思考方で毎年多くの親たちが子供と生き別れの悲劇に突き落とされている。この事態を見逃し続けてはならない。

●どのようなジャンルでもお任せください。

●経験豊富な編集者が、プロの装幀家・校正者と共に、あなたの創造した世界を「本」にいたします。

# 新潮社があなたの「本作り」を お手伝いいたします。

●お問い合わせ・資料のご請求は新潮社図書編集室までお願いします。003-6269-1124 [toshosho@shinchosha.co.jp](mailto:toshosho@shinchosha.co.jp)  
●詳細は弊社ホームページでも案内いたします。 <https://www.shinchosha.co.jp/toshosho>

- 装幀や校正、素材まで、すべて「新潮社の本」と同じ品質です
- 国会図書館に納本いたしますので、半永久的に「残す」ことができます
- 書店での販売も可能です

◎新潮社

7/8号 ■表紙絵「花を見るとき」  
成瀬政博(表紙のはなし)…114  
©新潮社 2021 本誌の記事、写真、  
イラスト等を無断で複製(コピー)、転載することを禁じます

# 週刊新潮



LINE公式アカウント、開設しました。  
友だち登録で週3回、人気の記事が  
届きます!QRコード読取で簡単登録。



## コロナの出口戦略

### 接種後「ワクチン」の不安に答える

▼死との因果関係は本当にないのか▼打つたのに感染 抗体ができるのは2回接種から何日後か▼1回目「ファイザー」2回目「モデルナ」でもいいのか▼1回だけではダメなのか▼こんな症状が出た人は2度目を避けた方が無難▼接種で発熱 市販の解熱剤飲んでもOK?▼体内に血栓?こんな自覚症状?▼親が急死した男性が証言 帰宅後の異変ならすぐ病院に…他

20

## これで「若見え」女と男の「薄毛・抜け毛」対策

▼ハゲは通院で治せる時代になった 3割が発症「男性型脱毛症」AGAの最新治療法▼頭頂部からすだれ状に「メカニズム未解明 女性型脱毛症」の治し方▼最先端「ローバンドLED治療」「自家毛髪細胞再生治療」とは

40

## 我が子「我が孫」をダメにする「子ども依存」

▼典型的な教育法は「小室家型」と監視型▼「うちの子は特別は自己愛の投影」▼過干渉で泣き着くのは嘘つきな大人

34

## 「天皇」が「東京五輪」で懸念の背後に「秋篠宮」

### そのまた後ろに「小室圭さん」

断末魔「都民フア」は見捨てられるのか  
国政復帰したい「小池百合子」長期入院でまたも敵前逃亡

118

**Fujisan.co.jp**  
雑誌のオンライン書店

## 週刊新潮

定期購読のおすすめ

毎号お手元にお届けします!

プ  
ラ  
購  
読 6ヶ月 13,250円  
12ヶ月 26,500円

月額払いもご利用いただけます

週刊新潮 fujisan 検索  
☎0120-223-223

お問合せ: / \ Fujisan.co.jp カスタマーサポート  
[Mail] CS@fujisan.co.jp

佐藤優の頂上対決 木藤俊一 出光興産代表取締役社長 ..... 86

MONEY  
今度は「ロッテHD」社長で「M資金」失態「玉塚元一」三度目の正直? ..50

テニポ  
■ロビー/SEX師匠と「枝野」「福山」.....120  
■ビジネス/ユーチューバー大量脱退騒動.....120  
■タウン/あの「ヘルメット」が標的に!.....121  
■スポーツ/五輪代表「海外組最多」喜べない.....122  
■エンタメ/「宇垣美里」ドラマと趣味と読書愛.....123  
■グルメ124 ■スクリーン125 ■テレビジョン126 ■ガイド127

Bookwormの読書万卷 外添要一 ..... 101  
■新々句歌歳時記(風山光三郎・俵万智).....72  
■結婚.....108 ■墓碑銘.....109  
■文殊のストレッチ.....99 ■掲示板.....74

小説  
奈落の子.....真藤順丈 110  
神曲.....川村元気 76  
あの子とQ.....万城目学 68  
黒い報告書.....内藤みか 93

グラビア  
産地直送おうちごはん  
優雅感具現化力タロク  
デーブみんばく探検隊  
146 144 143

コラム

日本ルネサンス.....櫻井よしこ 128  
生き抜くヒント!.....五木寛之 52  
変見自在.....高山正之 130  
十字路が見える.....北方謙三 54  
スジ論わたしのルールブック.....坂上 忍 75  
だんだん蜜味.....壇 蜜 82  
誰の味方でもありません.....古市憲寿 61  
私の週間食卓日記.....秋山エリカ 68  
TVふうん録.....吉田 潮 55  
この連載はスリードです.....中川淳一郎 64  
医の中の蛙.....里見清一 84  
人生に必要な英語はすべて病院で学んだ 加藤友朗 83  
アスリート列伝 覚醒の時.....小林信也 56  
それでも日々はつづから.....燃え殻 63  
気になる一手.....渡辺 明・吉原由香里 66  
夏寒冬扇.....片山杜秀 16  
「昭和歌謡」残響伝.....タブレット純 138  
俺は健康にふりまわされている 宮川サトシ 142

■週刊新潮メールアドレス: shukan@shinchosha.co.jp  
■読者問合せ・情報提供: shukan-d@shinchosha.co.jp  
■週刊新潮Twitter: @shukan\_shincho

「週刊新潮」読者アンケート実施中!  
ご回答いただいた方の中から  
抽選で毎週5名様に  
1000円の図書券をお送り致します。